

RJシリーズ導入事例

日本ユニパック株式会社 様

ハンディターミナル連携、  
出荷作業を大幅に効率化

物流



事業  
内容

食品向け包装資材・梱包資材及び  
機械・店舗什器の企画・販売・製造

導入  
目的

商品ピッキングと梱包作業を効率化し、  
出荷業務の迅速化と正確化を実現する

導入  
台数

RJ-3150 70台  
(2016年6月現在、順次増設中)

■会社概要

設立 1976年7月  
代表取締役社長 古野 勝之  
資本金 5,000万円  
本社 札幌市東区北34条東26-2-24  
事業所 本社ほか道内6営業所  
営業品目 食品包装資材、包装機械・機器、ディスプレイ  
機材、バックヤードシステム、販売促進企画、  
店舗開発、衛生管理提案、等  
U R L <http://www.unipack.jp>

## ハンディターミナルとRJ-3150を無線LANで接続、 ピッキングと梱包作業の大幅な効率化を実現!

! RJ-3150導入の背景

商品出荷業務の迅速化と  
正確化のために、  
物流システムを全面刷新。

- 荷札の貼付作業がボトルネック
- 荷札の貼付間違いのミスも多発
- ラベルプリンターの刷新が急務

日本ユニパック様は2015年10月、倉庫業務のトータルコスト削減のために物流システムを全面的に刷新いたしました。特に大きな課題となっていたのが、商品のピッキングと梱包作業の迅速化と正確化。それまではお客様名と住所が印字された荷札を据置型のラベルプリンターで出力していましたが、高額かつ大型だったために設置台数は4台のみ。荷札貼付待ちの荷物が溢れて作業フローのボトルネックとなっていました。また貼付担当の作業負荷が大きく、人的作業が多いため、貼付間違いのミスも多発していました。

! RJ-3150を選択した理由

モバイルで無線LAN搭載の  
RJ-3150を1人1台導入し、  
即座に荷札ラベルを出力。

- 1人1台を可能にした低価格
- 無線LANで即座に荷札を出力
- 頑丈さと操作性の良さも好評

同社では物流システムの刷新に合わせて、出荷作業フローも変更。それまで2名で行っていたピッキングと荷札貼付作業を1人に集約し、大幅な迅速化と正確化を目指しました。荷札出力用のラベルプリンターも、据置型から1人1台のモバイルプリンターRJ-3150に変更することで、ハンディターミナルから読み取った商品バーコードを無線LANで送信し、即座に荷札を出力できるようになりました。コンパクトで頑丈なRJ-3150は、これまで故障がなく、また新しいスタッフでも簡単に使える優れた操作性も好評です。

! RJ-3150導入の成果

出荷作業が大幅に効率化。  
RJ-3150導入等の成果を  
さらに改善活動へ展開。

- 作業の時間とコストを削減
- 荷札の貼付ミスもゼロに
- 更なる生産性向上を目指す

RJ-3150は同社特製のピッキングカート用ボードに設置され、約3,400アイテムが格納された倉庫内を走り回っています。1人1台のRJ-3150により、ピッキングと荷札貼付作業が1人に集約され、出荷作業は大幅に効率化されました。従来のボトルネックが解消し、作業時間とコストを劇的に削減。荷札の貼付ミスもゼロになりました。同社は物流システムの刷新と作業フローの改善、そしてRJ-3150の導入の成果を踏まえ、物流に関わるあらゆる業務の数値化と継続的な改善を行うなど、物流改革をさらに進める計画です。

ご購入いただいた代表的機種

RJ-3150

3.3インチカラー液晶搭載。無線LANとBluetoothの  
両方に対応した用紙幅3インチのモバイルプリンター。



頑丈でコンパクト(対落下衝撃性能1.8m※)

無線LANとBluetoothの両方を搭載

カラー液晶&時計機能を搭載

■製品の詳しい仕様は裏面をご覧ください。

### ■日本ユニパック様の出荷作業フロー

- 札幌ピッキングセンターには約3,400アイテムの商品が格納されています。商品は段ボール箱から取り出した状態で、ピッキング作業の動線が最短になるように最適に配置されています。
- ハンディターミナルで商品バーコードを読み取ると、カートに設置されたRJ-3150に無線LANでデータが送られ、自動的に荷札が出力されます。カートから離れた場所にある商品でも無線LANなら大丈夫。迅速なピッキングが可能です。
- RJ-3150は対落下衝撃性能が1.8m※。防塵防滴性能もIP54に準拠しており、カートの揺れ等ハードな現場環境でも使用可能です。
- RJ-3150から出力される荷札は、お客様名と住所が印字されたラベルと、梱包の中身を示すラベルに分かれています。荷物が複数個になった場合でも、梱包の中身が一目で分かります。
- 作業フローが1人で完結するため、出荷作業が迅速になり、かつ荷札の貼付ミスもなくなりました。



①札幌ピッキングセンター内の在庫

③カートに設置されたRJ-3150から荷札を出力



④荷札を即座に貼付



②ハンディターミナルによるピッキング



⑤出荷

### ■お客様の声

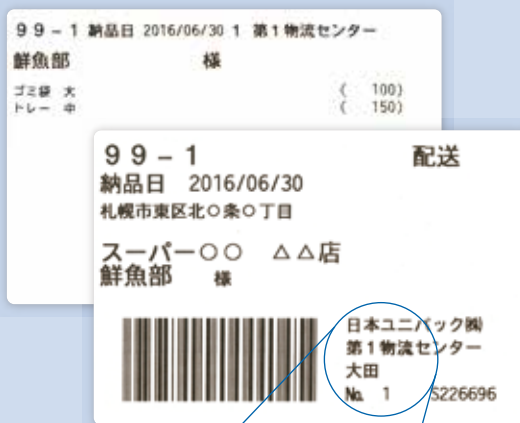
**ピッキングと荷札貼付作業を1人に集約できたことが、RJ-3150導入の最大の成果です。**



株式会社 ユニバックロジスティクス | 業務推進部 課長 | 宮腰 圭佑 様

新しい物流システム成功の鍵であった荷札出力用ラベルプリンターにRJ-3150を採用したことで、ピッキングと荷札貼付を1人に集約でき、作業の迅速化と正確化が実現しました。スタッフの業務負担も軽減され、一人当りの生産性向上に大きく貢献しています。またカートへの設置というハードな使い方ですが、これまで故障は1件もなく、その頑丈さに驚いています。新システムの導入により、出荷に関わるあらゆる業務が数値化されたことで、ピンポイントでの指導や的確な評価もできるようになりました。スタッフ全体のモチベーションアップにも繋がっています。

### ■出力見本(約50%に縮小/拡大部分は原寸)



### ■販売パートナー様の声

**新しい物流システム運用の要として、RJ-3150は作業現場をしっかりと支えています。**



ユーザーサイト株式会社 | 第一システム部 業務システム課 課長代理 | 横山 博文 様

当社は北海道を中心に総合ITサービス事業を展開しております。今回、日本ユニパック様の物流システム構築を担当させていただきましたが、お客様にご満足いただけるシステムができたことと自負しております。荷札出力用ラベルプリンター選定の要件は、①離れた棚にある商品でもピッキングできる無線LANを搭載、②カートの揺れや落下にも耐えられる頑丈さ、③1人1台で持ち運びを可能にするコンパクトさと低価格、等でした。RJ-3150はこうした要件をすべてクリアし、現場からも高く評価されています。新物流システム運用の要として、作業現場をしっかりと支えています。

### ■RJ-3150の概要

- 価格/オープン価格 ●印刷方式/感熱方式 ●印字解像度/203dpi×203dpi ●印字速度/最高127mm/秒 ●最大用紙幅/ラベル幅/80mm/76mm
- 最小用紙幅/ラベル幅/25mm/25mm ●外形寸法/約116mm(W)×189mm(D)×82mm(H) ●質量/本体:約555g、Li-ion充電電池装着時:約680g ●対落下衝撃/1.8m
- 防塵防滴/IP54準拠 ●インターフェイス/USB Ver.2.0 Full Speed、Aタイプホスト、無線LAN IEEE802.11b/g/n、Bluetooth Ver.2.1+EDR (Class 1)



※6つの面、1つの角を1台1カ所にて、1.8mから落下テストを行い、動作機能及び印刷品質に異常のないこと。ただし、外観上のキズ等が発生する場合があります。

## 導入事例紹介サイト



ブラザー製品により、さまざまな課題を解決し業務改善に成功された事例の数々をご紹介します。  
<http://www.brother.co.jp/product/houjin/>

製品には保証書が付いています。ご購入の際は販売店より必ず保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です(印刷物は2年です)。このカタログの掲載商品、並びに内容についての詳しいことは、お近くの販売店でご相談ください。もし、販売店でお分かりにならないときは、下記ブラザーコールセンターまたはブラザー販売(株)の営業部におたずねください。

●受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00(月~土) \*日 祝日・弊社指定休日を除きます。  
北海道/011-221-5775 東北/022-227-8885 東京/03-3274-6984 中部/052-824-3196 関西/06-6310-8856 中四国/082-240-3781 九州/092-481-1560